

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年8月1日

上場会社名 ブルドックソース株式会社  
 コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 章子  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画室長 (氏名) 佐藤 貢一  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月12日

上場取引所 東

TEL 03-3668-6811

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	4,349		251		299		134	
20年3月期第1四半期	4,096	4.8	195	37.2	293	23.3	55	81.4

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	1.94			
20年3月期第1四半期	2.96			

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円	銭	円	銭
21年3月期第1四半期	21,249		14,740		69.4		212.24	
20年3月期	20,853		14,505		69.6		208.85	

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 14,740百万円 20年3月期 14,505百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円	円	円	円	円
20年3月期		3.00		3.25	6.25
21年3月期					
21年3月期(予想)		3.00		3.25	6.25

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
第2四半期連結累計期間	8,400		360		400		140		2.02
通期	17,000	3.3	800	18.1	820	8.3	350		5.04

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 有

以外の変更 無

[(注)詳細は、3ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年3月期第1四半期	69,774,401株	20年3月期	69,774,401株
期末自己株式数	21年3月期第1四半期	321,609株	20年3月期	322,187株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年3月期第1四半期	69,452,603株	20年3月期第1四半期	18,699,130株

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する項目については、添付資料の2ページを参照してください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## ・定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期（平成20年4月1日～平成20年6月30日）におけるわが国経済は、原油等のエネルギー価格・原材料価格の高騰に伴う物価の上昇等やサブプライム問題に端を発した世界的金融不安により、景気減速の流れが強まり、先行き不透明な状況で推移しました。食品業界におきましては、消費者の生活防衛への意識の高まりから家庭での食事への回帰が見られるものの、原材料価格や物流コストの高騰に加えて販売競争が激化し、さらに食に対する信頼を揺るがす事件が連続して発生するなど厳しい事業環境が続きました。

このような状況の下、当社グループは事業全般にわたる効率化によりシナジー効果を創出し、競争力のあ  
る企業グループをめざしてまいりました。その結果、当第1四半期の売上高は43億4千9百万円、営業利益は2億5千1百万円、経常利益は2億9千9百万円、四半期純利益は1億3千4百万円となりました。

売上高におきましては、対前年同四半期比2億5千3百万円の増加となりました。

営業利益におきましては、原材料の高騰等厳しい環境ではありましたが、経営全般にわたる徹底した効率化等を実施し、対前年同四半期比5千6百万円の増加、経常利益におきましては対前年同四半期比6百万円の増加、四半期純利益におきましては、対前年同四半期比7千9百万円の増加となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億9千6百万円増加し、212億4千9百万円となりました。増減の主なものは、流動資産では、現金及び預金が4千9百万円減少し、受取手形及び売掛金が7千8百万円増加しました。固定資産では、投資有価証券が5億1千4百万円増加しました。

負債では、前連結会計年度末に比べ1億6千万円増加し、65億8百万円となりました。

純資産は、147億4千万円となり、自己資本比率は69.4%となりました。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間及び通期の業績見通しにつきましては、平成19年6月7日に公表しました中期事業計画を着実に達成するべく、事業ドメインの再定義に伴う新たな調味料分野への進出及び飛躍のための既存事業基盤強化を最重要課題として、当社グループとして新しく魅力ある商品を提供するとともに、積極的な販売活動に取り組み企業価値の増大化を図ることによって会社及び株主の皆様の利益の最大化に努めてまいります。

不動産賃貸事業につきましても入居者数の増加を図り、賃貸収入の増大に努めてまいります。

さらに経済情勢や原材料市況等の市場環境は当社グループにとって依然厳しい状況であるものと予測されますが、経営全般にわたる合理化・効率化を引き続き徹底してまいります。

なお、平成21年3月期の業績予想につきましては、平成20年5月15日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②法人税等の算定方法

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産については、従来、主として総平均法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法(貸借対照表については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)により算定しております。これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ19百万円減少しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,701	1,751
受取手形及び売掛金	4,507	4,428
商品	34	34
製品	359	351
原材料	145	126
仕掛品	25	21
繰延税金資産	164	164
その他	142	74
貸倒引当金	△ 0	△ 0
流動資産合計	7,082	6,953
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,590	2,647
機械装置及び運搬具	874	887
土地	2,710	2,710
その他	84	95
有形固定資産合計	6,260	6,341
無形固定資産	127	131
投資その他の資産		
投資有価証券	6,442	5,928
繰延税金資産	865	1,019
その他	553	569
貸倒引当金	△ 82	△ 90
投資その他の資産合計	7,780	7,427
固定資産合計	14,167	13,899
資産合計	21,249	20,853

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,847	1,717
短期借入金	250	250
1年以内返済予定長期借入金	200	200
未払金	392	57
未払費用	865	1,193
未払法人税等	96	5
賞与引当金	108	-
その他	119	18
流動負債合計	3,879	3,442
固定負債		
長期借入金	1,800	1,800
退職給付引当金	640	717
役員退職慰労引当金	-	372
その他	188	15
固定負債合計	2,629	2,905
負債合計	6,508	6,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,565
利益剰余金	11,252	11,343
自己株式	△ 343	△ 344
株主資本合計	14,517	14,608
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	222	△ 103
評価・換算差額等合計	222	△ 103
純資産合計	14,740	14,505
負債純資産合計	21,249	20,853

## (2) 四半期連結損益計算書

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
売上高	4,349
売上原価	2,165
売上総利益	2,183
販売費及び一般管理費	1,932
営業利益	251
営業外収益	
受取利息	0
受取配当金	71
その他	2
営業外収益計	74
営業外費用	
支払利息	10
たな卸資産廃棄損	7
減価償却費	7
その他	0
営業外費用計	26
経常利益	299
特別損失	
固定資産除売却損	17
退職特別加算金	44
その他	3
特別損失計	65
税金等調整前四半期純利益	234
法人税、住民税及び事業税	99
法人税等合計	99
四半期純利益	134

注記事項

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

全セグメントの売上高の合計及び営業利益の合計に占めるソース類製造販売事業の割合がいずれも90%を超えているため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

在外連結子会社及び在外支店がないため、所在地別セグメント情報を記載しておりません。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

海外売上高がないため、海外売上高を記載しておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

該当事項はありません。

「参考資料」

## 前四半期にかかる財務諸表

(要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(平成19年4月1日～6月30日)

(単位:百万円)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額
I 売上高	4,096
II 売上原価	1,988
売上総利益	2,107
III 販売費及び一般管理費	1,912
営業利益	195
IV 営業外収益	112
V 営業外費用	14
経常利益	293
VI 特別損失	206
税金等調整前四半期純利益	86
税金費用	31
四半期純利益	55